

Report

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.7.8

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

7、8月の石神井川観察は、7/23(金)、8/12(木)、8/27(金)
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

どんより空の下、野草は迷う？

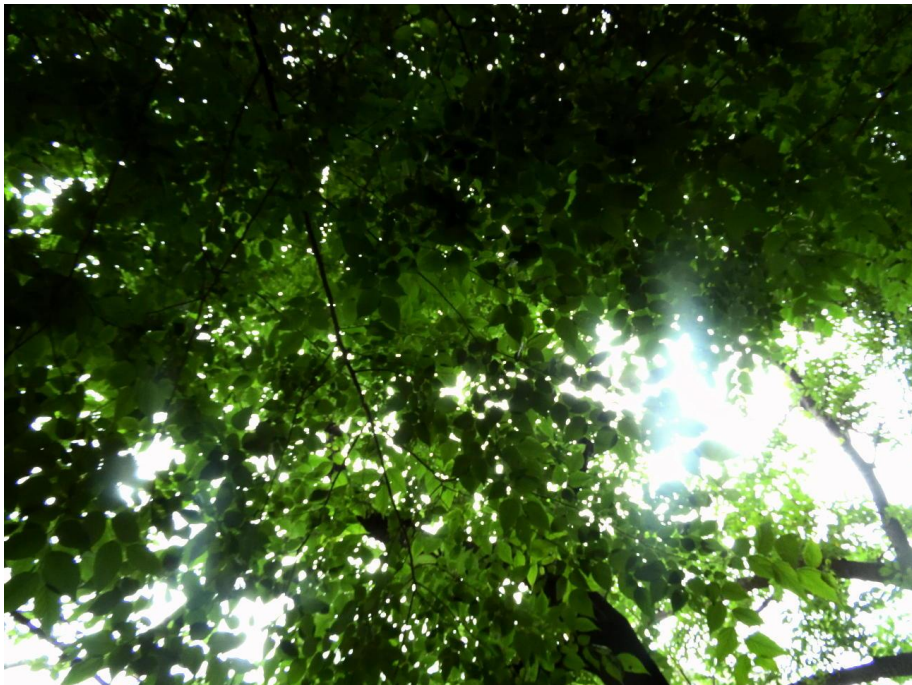
春が戻

ってきた

たと思

う野草

チチコ
グサモ
ドキ



もう秋

が来た

と思う

野草

ミズヒ
キ



←春先に咲いて、その後はウラジロチチコグサと交替したはずなのに、また咲き始めたチチコグサモドキ。秋を代表する花なのにもう咲きだしたミズヒキ。→長雨が続くと気温が低く、晴れ間になると急に暑くなる不安定な気候のせい??



「変な感じの花」も目立ちます



↑エノコログサの花の小穂の毛は猫

のしっぽのように柔らかいはずなのに、ここに咲いているのは固くて白っぽい毛を伸ばしています。どこにでもあるオオバコの花は普通、葉と同じ緑色で、果実になると茶色になるものだと思っていたのに、この白くてふっくらした感じはほかの植物ではないかと思ってしまう。

枯れそうになって花を咲かせる 子孫保存本能か？



2016年に観察・記録活動を思い立ったきっかけになったのがサツキツツジが紅葉時に花をつけたのを見たからですが、7/8の観察では枯れそうになった株にたくさんの花が付いていました。葉が緑色のほかの株には花はありません。もしかしたら、このサツキツツジ、子孫保存本能が働いて開花したのかもしれない。

一樣ではないノゲシの葉っぱ

最近では1年中咲いているノゲシ。

オニノゲシとの交雑が進んでいるのだと思うのです。

左から葉が柔らかい種、右は葉の棘が鋭い種、真ん中

はその中間の種。



毎回のよう新しい発見に出会う石神井川緑道です。やっぱり定期・定点の観察継続は必要。